

●南丹市地域創生戦略（第1期） 基本目標総括（4年目時点評価）

基本目標	基本目標に設定した 数値目標（K P I）	H26 (2014) 基準値	H27 (2015) 実績	H28 (2016) 実績	H29 (2017) 実績	H30 (2018) 実績	R1 (2019) 目標	4年目 達成度
1 「しごと」を創 出し働く場をつ くる	企業誘致数（件） （工場、サテライトオフィス等含む）	延べ35	3 (+3)	延べ4 (+1)	延べ7 (+3)	延べ11 (+4)	延べ10	110.0%
	誘致企業就業者数（人）	1,002	889 (▲113)	959 (▲43)	976 (▲26)	990 (▲12)	1,200	82.5%
事務局分析	誘致企業数は目標達成したが、就業には十分に繋がらなかったため、第2期では企業誘致に取り組みつつ就業支援や人材育成に力を入れる必要がある。							
地域創生会議で の総括意見	<p>■起業支援をどのようにしていくか、女性の起業を支援する意味・狙いはどうかという議論があった。小学校跡地の土地利用について、規制緩和・柔軟化といった話も出た。</p> <p>■企業誘致の目標は達成した。これは恐らく、先程仰った土地利用の考えでいけば、一定の可能性があると思う。ただ、その時にどんな企業を誘致したいのかという方向性で全然違って来る。企業にとって生産性の向上が最大のテーマ。極端な話、大規模な工場を誘致したところで、全てロボットが製造していたら、就業者数が伸びない。どのような企業を誘致しようとするのかによって、目標設定が全く変わってくる。</p> <p>■観光にせよ、移住にせよ、企業の誘致にせよ、一定実績が出て可能性もあるという戦略が大事だろうと思う。</p>							

●南丹市地域創生戦略（第1期） 基本目標総括（4年目時点評価）

基本目標	基本目標に設定した 数値目標（K P I）	H26 (2014) 基準値	H27 (2015) 実績	H28 (2016) 実績	H29 (2017) 実績	H30 (2018) 実績	R1 (2019) 目標	4年目 達成度
南丹市への人の 2 流れを増幅させる	転入者数（人）	1,102	1,136	1,197	1,254	1,248	1,182	107.3%
			(+34)	(+95)	(+152)	(+146)	(+80)	
	転出者数（人）	1,275	1,310	1,165	1,361	1,291	1,175	92.2%
			(+35)	(▲110)	(+86)	(+16)	(▲100)	
	観光入込客数（万人）	177	191	266	256	229	200	114.5%
			(+14)	(+89)	(+79)	(+52)		
事務局分析	<p>転入者や観光入込客を南丹市に呼び込むことはできたが、在住者の転出を食い止めることはできず、人口増には繋がらなかった。第2期では誘引だけでなく在住者に住んで良かったと感じ、住み続けてもらえる手立てを打っていく必要がある。</p>							
地域創生会議での総括意見	<p>■PRについても、やってきて良かったが、どういう人をターゲットとしていくのかは戦略がいるだろう。府との連携や、市内部での連携、周辺市町村との連携も重要である。委員からご意見のあった花火の件等、第2期戦略に関係する在住者支援の事を言っていただけだと思う。</p>							

●南丹市地域創生戦略（第1期） 基本目標総括（4年目時点評価）

基本目標	基本目標に設定した 数値目標（K P I）	H26 (2014) 基準値	H27 (2015) 実績	H28 (2016) 実績	H29 (2017) 実績	H30 (2018) 実績	R1 (2019) 目標	4年目 達成度
3 若い世代の夢を かなえる	婚姻数（件）	119	102	111	104	98	150	65.3%
			(▲17)	(▲8)	(▲15)	(▲21)		
	出生数（人）	226	188	213	178	200	250	80.0%
			(▲38)	(▲13)	(▲48)	(▲26)		
	合計特殊出生率（%）	1.33	1.19	1.40	—	—	1.60	87.5%
			(▲0.14)	(+0.07)				
事務局分析	どの指標も目標達成には至らなかった。人口の自然増のためには必須な要素であるため、第2期は重点的に取り組む必要がある。							
地域創生会議で の総括意見	<p>■大事なことではあるが、交付金事業にならなかったために、この会議ではあまり議論してこなかった。実際に南丹市としてこの分野に関して交付金事業以外でどう取り組んでいたのか、ここにいる委員には伝わらないところもあるかも知れない。なので、委員の皆さんも意見しにくいところがあるかも知れない。</p> <p>■合計特殊出生率の低さに衝撃を受けた。全国ワースト2位の京都府より低い。京都府が低い1つの原因として、京都府全体の中では京都市の人口が圧倒的に多く、その中でも学生が非常に多いという点がある。南丹市も比較的学生が多い。大学もある地域なので、もしかしたらそれが関係しているのかもしれない。特に明治医療大学には看護師のコースがあり、女性が多くなるのでなおさら、という推測はできるが、憶測の域を出ない。一度、調べていただきたい。それによって、また手の打ちどころが変わってくると思う。</p> <p>■事務局の分析に概ね同意するとして、第2期ではどういう事業が良いのか、この基本目標について重点的に取り組むべきである。</p>							

●南丹市地域創生戦略（第1期） 基本目標総括（4年目時点評価）

基本目標	基本目標に設定した 数値目標（K P I）	H26 (2014) 基準値	H27 (2015) 実績	H28 (2016) 実績	H29 (2017) 実績	H30 (2018) 実績	R1 (2019) 目標	4年目 達成度
4 誰もが安心して暮らせる地域をつくる	南丹市が住みやすいと感じている市民の割合 (市民意識調査)	48.8%	55.1%	57.0%	64.3%	63.3%	50%	126.6%
			(+6.3)	(+8.2)	(+15.5)	(+14.5)		
	防災の面で安心して暮らせるまちだと感じている市民の割合 (市民意識調査)	26.0%	—	29.9%	28.7%	37.3%	30%	
				(+3.9)	(+2.7)	(+11.3)		
事務局分析	いずれの指標も目標を達成したが、目標設定が低かったことも1つの要因と考えられる。第2期ではSDG s の思想に照らし、より多面的に取り組むことで市民満足度を向上させる必要がある。							
地域創生会議での総括意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 指標は達成できているが、事務局としては比較的謙虚な分析をしている。とはいうものの、市民意識調査をしたら、住みやすいと感じている人が、何で急に増えたのだと聞いても分からないのだと思うが。 ■ 防災の面で50%は低いですが、増えたという事実は、ポジティブにとらえる事ができると思う。 ■ なかなか、労働とかみ合わせるのが難しいところ。 ■ 全体としては、このKPIで測れないような内容が多かったのではないかと思います。目標設定をより工夫していくことが必要。旧町を超えた連携の必要性ということも、引き続き言われていたように思う。 							